

# 「2020年オリンピック・パラリンピック」を見据えた観光振興

概算要求

拡充 147億円の内数

## ○「オリパラ」開催国としての国際的注目度を活かした訪日プロモーション

- ・「オリパラ」開催国としての国際的注目度を活かして、ビジット・ジャパンとクールジャパンの連携等による効果的な訪日プロモーションの実施や、スポーツイベントを含むMICEの誘致・開催を促進。

骨太方針2014 2.3(2)  
日本再興戦略改訂2014 2.2.1テーマ4-②  
観光立国実現に向けたアクション・プログラム  
2014 1.

## ○「東京オリパラ」開催効果の全国への波及

- ・文化プログラムや聖火リレーの機会を活用して、日本文化等を多彩な観光の魅力として発信。
- ・地方空港への国際チャーター便に対する支援など、地方への新規路線開設を促進。

⇒外国から地方を直接訪問する外国人旅行者数の拡大、地方空港イン・地方空港アウトの促進

- ・オリパラ観戦を目的とした訪日外国人が鉄道等で日本各地を訪問するよう、企画乗車券の造成を促進。

## ○道の駅・郵便局・コンビニの活用を含めた、外国人旅行者への観光情報提供拠点の充実

- ・観光情報提供や多言語対応、無料公衆無線LAN環境の整備、地域の名産品の産直海外発送等を促進。

## ○「オリパラ」開催を契機としたバリアフリー化の加速

- ・誰もが安心して旅行を楽しむことができるユニバーサルツーリズムに対応した環境整備を推進。

### 文化プログラムを活用した魅力の発信

<2012年ロンドン大会における文化プログラムの事例>

- ・2008年から、ロンドンのみならず英国全地域で文化プログラム実施。  
(ロンドン以外の地域が約6割を占める)

#### 【世界シェークスピアフェスティバル】

→シェークスピアの戯曲を37言語で実演

#### 【アンリミティッドプロジェクト】

→身体に障害を持つアーティスト806名が参加するイベントを実施

#### 【帽子デザインのアピール】

→英国の前衛的で歴史的な帽子デザインをロンドン市内の21の彫刻に被せた



HATWALK:  
ロンドン市内彫像21体に前衛的な帽子を被せるイベント

### 地方空港イン・地方空港アウトの促進

#### 首都圏空港イン・アウト + 周遊

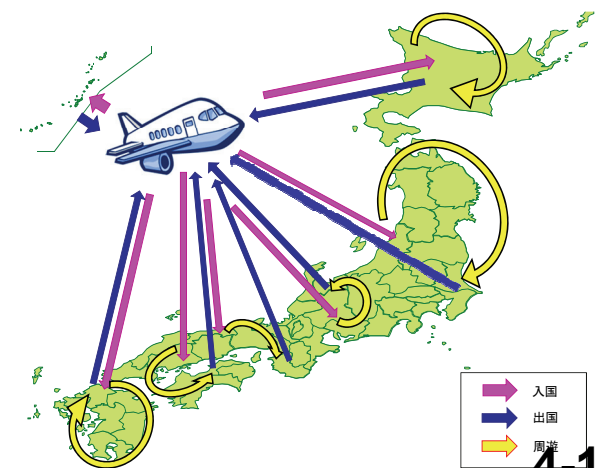
- 首都圏空港から入国
- 地方の観光地域を周遊
- 首都圏空港から出国

#### 首都圏空港イン + 地方アウト

- 首都圏空港から入国
- 地方の観光地域を周遊
- 地方空港から出国

#### 地方イン + 地方アウト

- 地方空港から入国
- 地方の観光地域を周遊
- 地方空港から出国



# インバウンドの飛躍的拡大に向けた取組

概算要求
拡充 147億円の内数

## ○ 様々な業種の参画による新たな取組の創出

- ・エンターテイメント、ファッション、デザイン、アニメ、食、流通、農業、文化、IT等、従来の観光産業にとどまらず、様々な業界にインバウンド推進の担い手を拡大。

骨太方針2014 2.3(2)  
日本再興戦略 2.2. テーマ4-②  
観光立国実現に向けたアクション・プログラム2014 2.

## ○ 訪日プロモーションの戦略的拡大

- ・外部のマーケティング専門家が参画するマーケティング戦略本部を観光庁に設置し、より科学的なマーケティングを実施。
- ・中国沿岸部・内陸部や東南アジア、インド・ロシア等に訪日プロモーションを戦略的に拡大・強化。

## ○ JNTOを実施主体とした訪日プロモーションの実施体制の整備

- ・JNTOを訪日プロモーション事業の実施主体として、必要な体制を整備することにより、海外における訪日プロモーションの貴重な機会を逃さず、迅速な意思決定によって事業を実施。

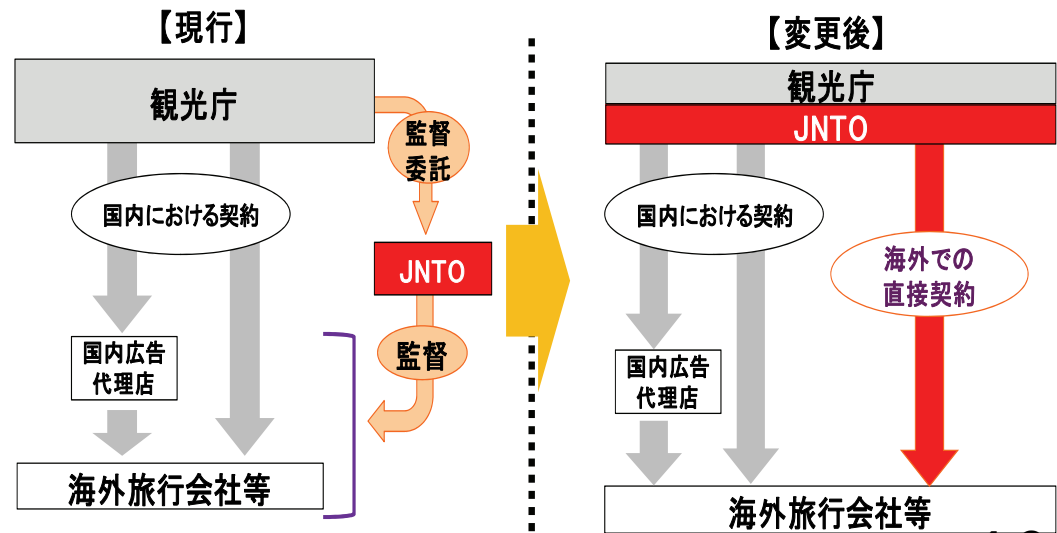
### 様々な業種の参画による新たな取組の創出

○異業種間連携や同業種間の連携を促すプラットフォームを構築。



➡ インバウンドの流れを広く「産業」として取り込み

### JNTOを実施主体とした訪日プロモーションの実施体制の整備



# 関係省庁と連携した、ビザ要件の緩和など訪日旅行の容易化①

日本再興戦略 2.2. テーマ4-②  
観光立国実現に向けた  
アクション・プログラム  
2014 3.

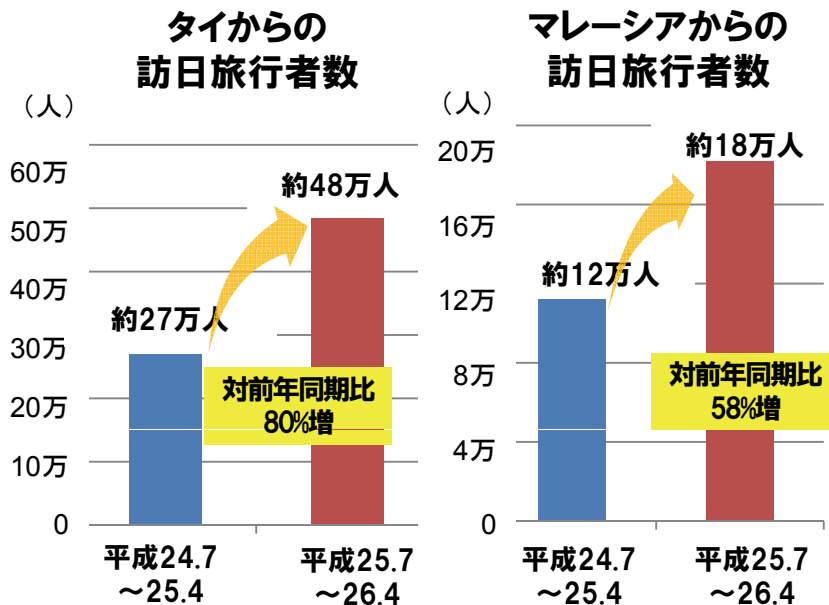
## ○戦略的なビザ要件の緩和

治安への十分な配慮を前提としつつ、訪日客増加に大きな効果の見込まれるインドネシア、フィリピン及びベトナムに対して、相手国の協力を得つつ、可能な限り早急に3カ国全てのビザ免除の実現に努力。まずは、当面の措置として、以下の戦略的ビザ要件の緩和を実施。また、電子渡航認証システムについて検討。

- ・インドネシア向けのビザ免除(在外公館へのIC旅券事前登録)。
- ・フィリピン及びベトナム向けのビザの大幅緩和
  - ①一次ビザ実質免除(観光目的・指定旅行会社経由)
  - ②数次ビザ大幅緩和(発給要件緩和・有効期間の延長5年への延長等)
- ・今夏までにインド向けの数次ビザの発給を開始

## 戦略的なビザ要件の緩和

昨年7月に実施したタイ・マレーシアのビザ免除の効果



国名	訪日外客数 (2013年)	現行	緩和の内容	緩和により 期待される効果
インドネシア	約14万人	数次 ビザ	<b>ビザ免除</b> (在外公館へのIC旅券 事前登録が必要)	・ビザなし訪日旅行の実現
フィリピン	約11万人		<b>一次ビザ実質免除</b> (指定旅行会社の パック旅行利用者)	・指定旅行会社のパック 旅行利用者は、極めて 簡素な手続きで原則ビザ 取得可能
ベトナム	約8万人		<b>数次ビザ大幅緩和</b> ・発給要件の緩和 ・有効期間を最長3年から 最長5年に延長 等	・数次ビザ取得者層の拡大 ・一度数次ビザを取得すれ ば、最長5年間何度でも 訪日旅行が可能

## 関係省庁と連携した、ビザ要件の緩和など訪日旅行の容易化②

### ○外国人長期滞在の促進

- ・外国人富裕層を対象に、観光目的による滞在期間を最長1年とする方向で、制度案について関係省庁間で協議を進め、必要な措置を講じ、来年度からの実施を目指す。

### ○出入国手続きの迅速化・容易化

- ・CIQに係る予算・定員の充実を図り、必要な物的・人的体制の整備を進めて、2016年度までに空港での入国審査に要する最長待ち時間を20分以下に短縮することを目指す。
- ・地方空港における外国人旅行者の受入に必要なCIQ体制を確保。

骨太方針2014 2.3(2)

日本再興戦略 2.2.テーマ4-②

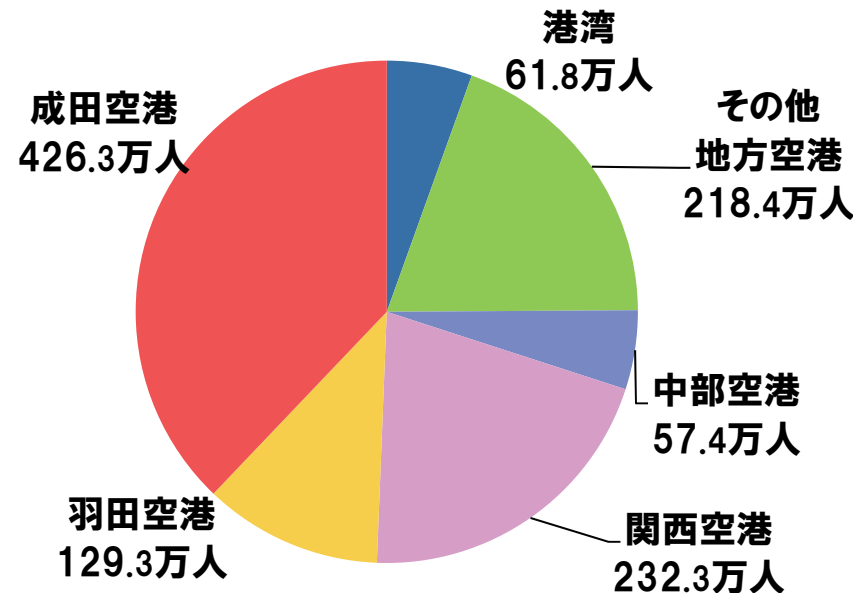
観光立国実現に向けたアクション・プログラム2014 3.

### 地方空港における入国外国人数等



※入国審査場の状況(例)

○平成25年（2013年）入国外国人の空港・港湾利用内訳



その他地方空港利用状況の内訳

- ・福岡空港…… 68.7万人
  - ・新千歳空港… 50.6万人
  - ・那覇空港…… 37.4万人 など
- 計218.4万人



# 世界に通用する魅力ある観光地域づくり

骨太方針2014 2.3(2)  
日本再興戦略 2.2..テーマ4-②  
観光立国実現に向けたアクション・プログラム2014 4.

概算要求
新規 14億円

## ○多様な広域ルートの開発・提供と発信 【再掲】

## ○魅力ある空間の形成

・自治体や電線管理者等と連携して本格的に無電柱化を推進するとともに、まちづくりと一体となった魅力ある水辺空間の創造や、街なみ環境の整備改善等による美しい景観形成の整備を推進。

## ○地域経済活性化支援機構(REVIC)との連携・協力

・観光庁と株式会社地域経済活性化支援機構の連携協定に基づき、地域が主体となって行う観光資源の磨き上げ、情報発信等の取組に対し、人材・ノウハウ、資金、情報の提供等の支援を行うことにより、観光を軸とした地域活性化モデルを構築。

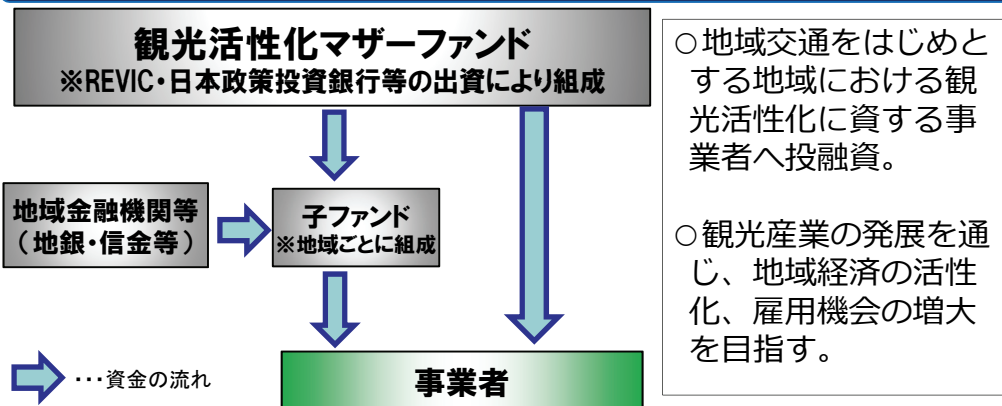
## ○地域内の周遊観光をしやすいするための仕組みづくり

・宿泊施設から観光地等への周遊観光を可能とする自家用有償旅客運送の規制緩和や、貸切バスのゲートウェイ施設への発着を可能とする営業区域の弾力化を実施。

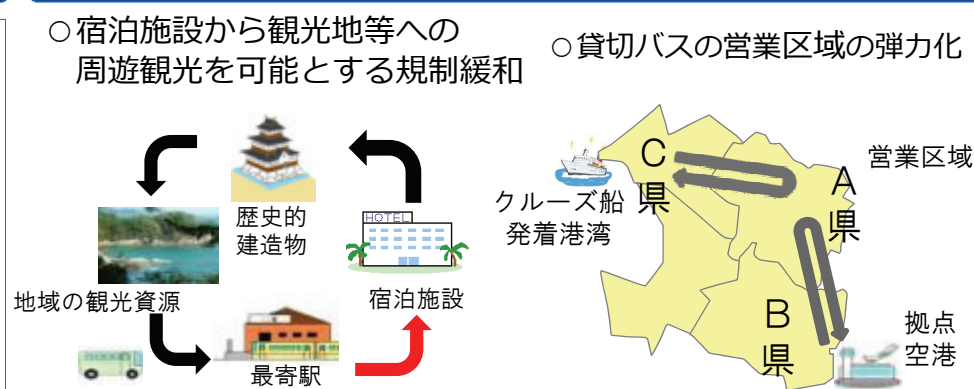
## ○観光振興による被災地の復興支援

・三陸鉄道の運転再開等、復興に向けた姿を体験する復興ツーリズムを推進。

### 地域経済活性化支援機構(REVIC)との連携・協力



### 地域内の周遊観光をしやすいための仕組みづくり



# 外国人旅行者の受入環境整備①

税制要望

下記参照

骨太方針2014 2.3(3)  
 日本再興戦略 2.2. テーマ4-②  
 観光立国実現に向けたアクション・プログラム2014 5.

## ○免税制度の拡充を契機とした免税店の拡大【再掲】

## ○外国人旅行者向け通信環境の改善

・無料公衆無線LAN環境について、観光庁と総務省の連携により、事業者や自治体への働きかけや、一度の登録でサインインできるアプリの活用促進、共通シンボルマークの導入による「見える化」、海外への情報発信等を推進。

## ○多言語対応の改善・強化

・美術館・博物館、自然公園、観光地、道路、公共交通機関等において、本年3月に制定した多言語共通ガイドラインの徹底と、多言語通訳・翻訳アプリ等の活用により、外国人旅行者によるスムーズな情報取得を促進。  
 ・鉄道駅と地下街や地上側施設との連携など、徹底した利用者目線で、動線上の多言語案内表示を徹底。  
 ・タクシー車両への自動翻訳スマホアプリの導入や、外国語対応が可能なタクシーの優先乗り場の設置を促進。

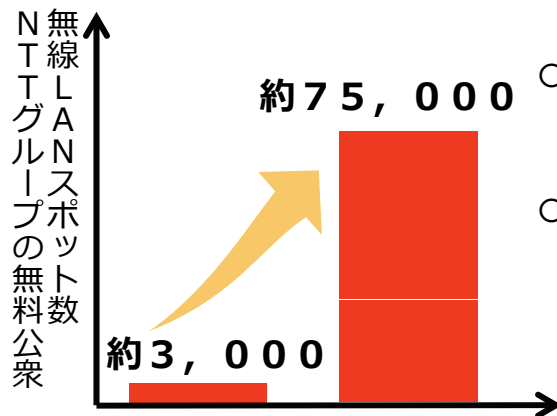
## ○ムスリム旅行者への適切な情報提供

・ムスリム旅行者がスムーズに食事を選択出来るよう、豚肉やアルコールの使用の有無等、レストランやホテル、お土産店等における基本的な情報提供を促進。

### 外国人旅行者向け通信環境の改善

#### <NTTグループの取組（例）>

○平成24年3月末から比較すると、無料Wi-Fiスポット数が2.5倍に飛躍的に増加中



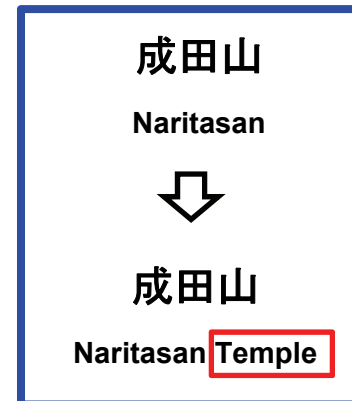
○山梨県全域・東北観光推進機構等と連携

○Japan Connected-free Wi-Fi（アプリ）による認証一元化を展開中

平成24年3月末 平成26年3月末

### 多言語対応の改善・強化

○外国人目線に立って、美術館・博物館、自然公園、観光地、道路、公共交通機関等に共通する多言語対応ガイドラインを広く関係者に周知し、多言語対応を改善・強化。



◀ 例1  
意味を正しく伝えるべく、「寺」の部分の英訳を追加した例

例2 ▶  
日本文化を正しく伝えるべく、世界的に定着しているOnsenに変更



## 外国人旅行者の受入環境整備②

骨太方針2014 2.3(3)  
日本再興戦略 2.2. テーマ4-②  
観光立国実現に向けたアクション・プログラム2014 5.

### ○公共交通機関による快適・円滑な移動のための環境整備

- ・交通系ICカードについて、交通事業者によるシステム導入を支援し、利用エリアを拡大。
- ・鉄道の企画乗車券やICカードについて、利便性の一層の向上や海外からの予約・発券、国内到着後のスムーズな購入・引換え等を実現。
- ・公共交通機関と美術館・博物館、観光施設等とで相互利用可能な共通パスの導入を目指す。
- ・多言語での宅配運送サービスに関する情報提供に努めるとともに、サービス内容を充実させ、「手ぶら観光」を実施。

### ○「クルーズ100万人時代」実現のための受入環境の改善

- ・「全国クルーズ活性化会議」と連携して、クルーズ船社、港湾管理者、自治体が参加する商談会・シンポジウムを開催するとともに、港湾施設の諸元や寄港地周辺の観光情報を一元的に発信するウェブサイトを充実。
- ・外国クルーズ船の日本への寄港を増加させるため、港湾施設等の情報が統一的に提供されるよう東アジア・東南アジア諸国と連携した取組を促進。

### ○安全・安心の確保(災害や病気・怪我への対応)

- ・地震・津波等の災害に備えて、宿泊施設等における対応マニュアルを作成、IT(アプリ)を活用した情報提供システムを整備。
- ・医療通訳等を配置したモデル拠点の整備など、不慮の怪我や病気に直面した外国人患者の受入体制を充実。

#### 「クルーズ100万人時代」実現のための受入環境の改善



#### 【提供情報の内容】

- ・寄港地周辺の観光情報（グルメ、ショッピング、見どころ、トピックス）
- ・港湾からの観光スポットまでの交通アクセス
- ・関連リンク、問い合わせ先など

#### 災害への対応



災害情報提供アプリ  
(イメージ)

- 首都直下地震・津波等の災害時における訪日外国人旅行者の安全確保のための初動対応体制を構築すべく、以下の取組を促進。
  - 宿泊施設・観光施設における対応マニュアルの作成
  - IT(アプリ)を活用した情報提供システムの整備
  - 地域防災計画等に対応を盛り込むための指針の作成



地下街の天井板の補強

- 宿泊施設や地下街等の早急な耐震化・老朽化対策とともに、適切な施設の診断や防災計画の策定、避難誘導等のソフト面の取組を促進。



# MICEの誘致・開催促進と外国人ビジネス客の取り込み

概算要求

拡充 147億円の内数

日本再興戦略 2.2.テーマ4-②  
観光立国実現に向けたアクション・プログラム2014 6.

## ○MICEに関する取組の抜本的強化

- ・国際会議(C)の誘致に加え、企業が主体となるミーティング(M)、インセンティブ旅行(I)、展示会・イベント(E)へ取組を拡大。
- ・国としてミーティング、インセンティブ旅行の誘致戦略を新たに策定、誘致を促進。
- ・民間企業と協働して、展示会・イベントへの外国人参加者の増加とその地方訪問促進のための旅行商品造成を促進。

## ○ファーストレーンの設定

- ・国際会議等の参加者やVIP等を対象としたファーストレーンの設定を、まず平成27年度に成田・関空両空港において実現。

## ○ビジネスジェットの利用環境整備

- ・首都圏空港におけるビジネスジェットの利用環境整備として、空港内の動線改善(成田空港)や、専用動線の確保(羽田空港)などを行い、ビジネスジェット利用者の出入国やターミナルビルまでのアクセスに係る距離・時間を短縮。

## MICEに関する取組の抜本的強化

- 従来の大型国際会議の誘致に加えて、大型インセンティブ旅行等の誘致へ取組を拡大。

### 国際会議誘致の事例

#### 第23回世界神経学会議

- ・内閣総理大臣、観光庁長官より招請状を  
発出し、京都への誘致に成功。
- ・2017年9月、参加規模 **7,000名**での開  
催予定。



#### 第22回国際栄養学会議

- ・内閣総理大臣・観光庁長官より招請状を  
発出し、東京への誘致成功。
- ・2021年10月、参加規模 **4,500名**での開  
催予定。



### インセンティブ旅行誘致の事例

- ・本年4月に台湾の大手会社  
が、**約2,200名**のインセン  
ティブ旅行を実施。  
(大阪、京都、神戸、岡山  
等を周遊、4泊5日)



- ・本年5月、スペインの大手  
保険会社が、**約600名**で  
インセンティブ旅行を実  
施。  
(京都・東京に5泊滞在)

